

## エネルギー効率ガジェット開発

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年09月20日 ～2024年09月27日	日本	チェンナイ工科大学	機械工学科、 機械機能工学科、 先進国際課程  学部2～4年生	(芝浦工業大学) 学生5名、 学生バイト4名、 教員2名 (チェンナイ工科大学) 学生10名	RAJAGOPALAN UMA MAHESWARI (先進国際課程)、  二井 慎行 (機械工学課程基幹機械 コース)



最終日の記念撮影

インド・チェンナイのCITから10名の学生が参加し、9月20日の午前から27日の午後まで行われました。二井研究室の2名のTAとUma研究室の2名のTAがプログラムの運営を手伝いました。SITからは、機械機能から2年生女子2名、機械から4年生2名、IGPから4年生1名が参加しました。CITの生徒たちは、国際部の宮坂さんから最初のオリエンテーションを受けた。次に、6月のNTUTとのプロジェクトで作成されたビデオを使って、TAによるGPLの内容が紹介された。CITの学生たちはすでにArduinoのプログラミングに慣れており、彼らの目標も理解していたため、とてもスムーズに進めることができた。CIT-SITの学生は合計15名で、6つのグループに分かれ、2つのチームに2名ずつ参加しました。残りの4チームは3人のメンバーで、3人のチームにはSITのメンバーが1人ずついるようにランダムで選ばれた。生徒たちは、SDGsの目標を達成できるようなガジェットを作るための様々なアイデアを出す時間を与えられた。翌日(土曜日)、学生たちはチームメンバー内で作業を開始し、プロジェクトに必要なものを揃えるために秋葉原に向かった。23日(月)の夜にウェルカムピザパーティーを開催し、多くの参加者が集まった。最終日も同様のピザパーティーを開催二井研究室、Uma研究室、ホスト学生を合わせて40名ほどがパーティーに参加しました。学生たちはワークショップに参加し、壁掛け式プロパン、CO2煙センサー 視覚障害者用振動ガイドスティック、障害者コミュニケーション用モルルス信号発生器、SOS、漏水検知器、エネルギー効率に優れたインテリジェント・エネルギー管理など、さまざまなガジェットの製作に取り組みました。全体として、生徒たちはさまざまな役に立つ実用的なプロジェクトを考え出した。最終日の金曜日朝9:30からは、全チームによるプレゼンテーションが行われた。プログラムは成功裏に終了し、2月17日から2月24日までチェンナイでスマート農業ドローン・プロジェクトに取り組むアウトバウンド・イベントを開催し、協力を継続する予定です。学生たちは皆、このワークショップで知識を得ただけでなく、インドの学生たちが短期交換留学でSITに來たいと強く希望していることを伝えた。



プレゼンテーション 1



プレゼンテーション 2



プレゼンテーション 3



プレゼンテーション 4



歓送迎会 1



歓送迎会 2